

令和5年10月13日

<佐々木 朗>

地域交流サロン「こんにち輪」ハロウィンパーティーに参加して

- 1 日時 令和5年10月13日(金)13:30~15:00
- 2 場所 函館市総合福祉センター(あいよる21)3階教養娛樂室
- 3 内容 ハロウィンパーティーに関わるゲーム、おしゃべり

#### 4 まとめ

総合福祉センターで行われる地域交流サロンは初めての参加である。今回の企画が、大学生の地域福祉コーディネータの初舞台であるということも聞いて、応援の意味も込めながら参加した。同じ研究室の3名もお手伝いとして加わってくれた。

今日の集まりには一般参加者が15名ほどであった。全函館市内対象にして、この数字が大きいのか小さいのかはわからないが、席の数とまあまあ合致することから、だいたいの期待数が集まったのではないかと思う。

ゲームでは参加者を5人ずつの3つのチームに分けて、点数を競った。

一つ目は、「順番に並ぶゲーム」、下の名前のおいいうえお順、背の高さ順、好きな食べ物順などで、一列に速く並んだチームが勝ち。簡単かと思いきや、「まみむめも」と「らりるれろ」の順番を勘違いして、間違えて大笑いするなど、まじめにやりながらもたくさん、

笑った、笑った。

二つ目は、「ミール巻き巻きゲーム」、チームに所属する大学生サポーターに、トレットとペーパーをぐるぐると巻き、ミールを作り、その美しさを競うというもの。「おっと、今の世の中、トレットペーパーを



おいしいコーヒーやお茶を飲みながら、のんびりおしゃべりしたり、時々お楽しみの時間があったり、和やかなひとときを一緒に過ごしませんか? 出入りは自由ですよ♥

開催日 令和5年10月13日(金)

開催時間 13:30~15:00

開催場所 函館市総合福祉センター(あいよる21)  
3階教養娛樂室

感染予防対策にご協力下さい

- ・当日はマスクの着用をはじめ、手指消毒にご協力いただきますようお願いいたします。
- ・体調不良(発熱)の場合は参加をお控えください。

問い合わせ 函館市社会福祉協議会 ☎(0138)23-2226

新型コロナウイルスの市内感染状況によっては内容の変更や中止または延期する場合がございますので、ご理解ください。



このような形で使って大丈夫かなあ。」とちょっと思ったが、また、いいことにして、競技を続けた。5人いたので、両足、両手、そして、頭に巻いた。「どっち向きで巻く?」「どっちから巻く?」「網目入っているから、切れやすいわ。」などと5人で工夫しながら、女子大生をトイレトパーンでぐるぐる巻きにした。もう、目が出ているのか出ていないのかわからないぐらい。写真の通りと結果となった。私達のチームは手前の子、一位のチームは向こう側の子であった。一番右が今回企画の中心となった地域福祉コーディネータ。

最後のゲームは、スプーンピンポン玉運びリレー。2回やった。結構真剣勝負だったが、バトンタッチならぬ、ピンポン玉タッチは真剣に行い、落としたチームはほとんどなかった。これもみんなで、笑って楽しんだ。

最後に、今回企画してくれた大学生たちの手作りのハロウィンカードそして、おやつをいただき、しばし歓談して、お開きとなった。

1時間半の楽しい時間を過ごすことができた。お年寄りの方がほとんどなのかと言えそうでもない。結構若い年代の人も多く、歓談の中では、みんなそれなりの人が多いようである。

大学生の企画のデビュー戦。たくさん場数を踏んでいる私の目で見ると、あそこはこうした方がスムーズかな、こんな配慮もあっていかななど、気が付くところはたくさんあるが、みんな楽しく、私も楽しく、過ごすことができなので、大成功だったと思える。笑顔の中にも、進行に対



する責任感を持った真剣な目を時折感じることができた。自分が大学生の時は、こんな企画はできなかつたと思うと、なおさら大きな拍手を贈りたい。彼女たちの専攻は福祉分野ということで、今実践していることがそのまま、経験として役立つていくのではないかと思う。

また、このような公的な企画を若者たちに任せるといふ函館市社会福祉協議会の采配もすばらしいと思う。

人は誰でも、ほっとする場所があると心もリラックスできる。それが家庭である方も、職場である方も、また、愛する人と共にいる時間であるかもしれない。そんな中に、この地域交流サロンも一つ加わつたらなあと思う。金銭的にも、職場の上下関係も、近隣との人間関係も、何も気づかいすることがない、優しい心を持った人たちの交流の場である。きっとちょっと心が止んだ人たちが、勇気をもって、「こんにちは輪」って参加してきたら、帰りには、大きな声で「ありがとう、楽しかった。」と笑顔で帰途に迎えるのではないかと思う。

福祉」の意味はとても、広い。しかし、幸せ感や心の豊かさを提供してく取り組

みであることは間違いない。福祉に携わる者は、様々な取り組みを通して、人を幸せにし、同時にそのことが、自分自身も幸せになるであろう。すばらしい世界の一端を今日は体験することができた。

次回は 11月10日(金)13:30 函館市総合福祉センター開催である。